

山本先生

平成15年6月5日(木)

指導者 城間 千里

1 題材 合唱の楽しさ

2 目標

- ◎ 合唱することの楽しさを味わい、すすんで合唱しようとする態度を育てる。
- 自ら積極的に合唱に取り組む意欲を持ち、合唱に関心を持つ。
- 歌詞の情景をイメージしながら、曲想を工夫することができる。
- 他のパートにつられることなく、自分のパートをしっかり歌う能力を高める。

3 指導観

- 中学校に入学して約2ヶ月が過ぎた。徐々に中学校生活にも慣れてきたように感じられる。クラスの団結力も少しずつみられるようになり、クラスがまとまりつつある。授業で扱う歌唱曲としては3曲目であるが、混声二部合唱としての取り組みは初めてである。男女が団結し、仲間と合唱する楽しさを味わわせるために本題材を設定した。
- 本学級の生徒は、歌うことが好きな生徒が多い。男子は変声がすすんでいる生徒が約半分おり、残りの生徒はすすんでいない。しかし皆十分に声を出し楽しく歌っている姿が見られる。女子生徒の大半は「高い声が出ない」という問題を抱えている。今まで地声で歌うことが多かったことが原因のひとつとして言えるだろう。また、声の響きに関する、まだまだ練習の積み重ねが必要である。
- 本題材においては「朝の風に」(安在薰作詞、長谷部匡俊作曲)を主教材として学習する。本教材は男声、女声とも音域があまり広くないので歌いやすいと思われる。歌詞の内容をみると、情景を思い浮かべて歌うには非常に効果的である。また「レインレイン」(高木あきこ作詞、橋本祥路作曲)はリズムに乗りやすく楽しく歌える。明るい雰囲気を出すにはとても効果的な曲である。指導にあたっては、初めて混声二部合唱に取り組むこととなるので、他のパートにつられることなくしっかり自分のパートの音をとらせたい。そして合唱の中で自分のパートの表現を工夫させたい。そして、齊唱では味わえない「ハーモニー」を生徒たちに味わわせたい。

4 指導計画

	1時間目	2時間目(本時)	3時間目
主教材 「朝の風に」	範唱 CD鑑賞、音取り、 パート練習	パート練習、曲想の工夫	合唱仕上げ
関連教材 「レインレイン」	音取り、齊唱	齊唱、曲想の工夫	合唱仕上げ

5 評価の観点

問題解決の場（話し合い活動・体験的な活動）における評価			教科指導上の評価
A 私の意思（自己決定の場）	B 友との協力（共感的人間関係）	C 私の存在感（自己存在感）	D 観点別評価
<input type="radio"/> 課題をしっかりと把握しているか。 <input type="radio"/> 積極的に取り組んでいるか。	<input type="radio"/> 友達と協力しあって練習に励んでいるか。 <input type="radio"/> 友達の声を聴き、声をあわせようとしているか。	<input type="radio"/> 自信を持って自分のパートを歌えているか。	<input type="radio"/> 無理のない、響く声で全体に調和させて合唱しているか。

6 本時の目標

- 他のパートを聴きながら、美しいハーモニーを求めて合唱することができる。

7 指導過程

段階	学習活動及び学習内容	形態	評価と支援 (評価は●、支援は○)	指導上の留意点 (は基礎・基本に関する留意点)
振り返る	(1) 前時を振り返る。 ・ 混声合唱について	一斉	<input type="radio"/> 混声合唱とは何かもう一度思い出させる。	・ 女声パート、男声パートの音域、声の違いを確認させる。
つかむ	(2) 本時の学習課題をつかむ。	一斉	● 学習へ取り組もうとする姿勢が見られるか [A]	・ 本時の学習課題を確認することで、やる気を持たせる
	他のパートを聴きながら、 美しいハーモニーを求めて合唱しよう。			
見通す	(3) 既習曲を歌う。 「レインレイン」	一斉	● 正しい姿勢で、真剣に取り組み、声を出しているか。 [A, B, C, D] <input type="radio"/> 教師も一緒に歌うことで、生徒に自信を持って歌わせる。	・ 正しい姿勢や口形に気をつけさせる。 ・ 歌う雰囲気をつくる。 ・ 難しそうにしている。
	(4) パート練習をする。	パート		

	<ul style="list-style-type: none"> ・テープにあわせて ・ピアノ伴奏にあわせて 			る部分を抜き出して練習させる。
解 決 す る	(5) 全体合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・部分的に ・全体 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○かけあいの部分では他のパートの旋律を聴きながら歌わせる。 ●友達の歌声を聴きながら合唱できたか [A, B, C, D] ○ブレスの位置やフレーズのまとまりに気をつけて歌わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のパートにつら れやすい部分は、そ の場で練習させる。 ・曲の盛り上がりを 感じとらせる。
ま と め る	(6) 本時の反省をする。 (7) 次時の予告を聞く。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ●他のパートを聴きながら合唱することができたか。 [A, B, C, D] ○次時は合唱の仕上げをすることを告げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反省点等を発表さ せる。

8 板書計画

学習課題

他のパートを聴きながら,
美しいハーモニーを求めて合唱をしよう。

<混声合唱とは>

男声と女声を組み合わせた合唱

姿勢に気をつけよう！

- ☆ 足は軽くひらいで
- ☆ 目をしっかりとあけて
- ☆ 声の届く先をみつめて